

釧路南ロータリークラブ会報

第28回 例会報告 2012.1.27 通算1428回

・点 鐘

長倉会長

ブの邵さん経由でメールが届いておりますので、ご報告いたします。

・ロ - タ リ - ソ ン グ

「手に手つないで」



ソングリーダー 北上 俊一会員

・結 婚 祝

森江 洋之会員 H6.1.29 (18年目)

・会 長 挨拶



皆様こんにちは。

まずは、ご案内をさせていただいております新晋州RCの件ですが、今週25日に伊会長より釧路クラ

「こんにちは！

釧路南ロータリークラブが送ってくださった「カンボジア奉仕金」を、本日確認致しました。誠に有難う御座います。

カンボジアの学校建設は、まもなく終了段階至り、屋根をつけようとしています。

事業がこんなに速やかに行われているのは、釧路南ロータリークラブのご尽力のおかげです。数日前にカンボジアから送られてきた、工事の写真を添付致します。

前回メールにて、セーチンジュロータリークラブからは、4月にカンボジアに訪問するとお話ししましたが、

色々な事情で、5月9日～13日(3泊5日)に変更になると思います。

いつも有難う御座います。ご健康で・・・!!!」

来月2月の4、5日で根室にてバードフェスティバルが開催されます。

この中でオオワシ探鳥会というオオワシやオジロワシを観察するイベントがあり、これを何とか例会と結び付けたかったのですが、残念ながら理事会で却下されてしまいましたので、個人的に行ってくださいと思います。もしご一緒できる方はご連絡ください。詳細は、追ってメールにて配信いたします。

ちなみに、ご存知の方も多いと思いますが、この地域ではタンチョウが特別天然記念物、オオワシとオジロワシは天然記念物として認定され、その生存数

からも絶滅危惧種とされております。以前に偶然オオワシの飛び立つ姿を見たことがありますが、この世のものと思えぬような圧倒的が存在感に驚かされたことを覚えております。

オオワシ

形態

全長オス 88 センチメートル、メス 102 センチメートル。翼開張 220-250 センチメートル。尾羽は長い楔形。尾羽の枚数は 14 枚。全身の羽衣は黒や黒褐色で、頭頂から頸部を被う羽毛は羽軸に沿って白い斑紋（軸斑）が入る。額や腰、脛は白い羽毛で被われ、尾羽も白い。飛翔時には後部が膨らんで見える。翼は黒や黒褐色で、小雨覆や人間でいう手首を被う羽毛（小翼羽）、一部の小雨覆は白い。

オジロワシ

形態

全長 70-98cm。翼開張 180-240cm。3-7kg。全身は褐色の羽毛で覆われる。頭部は淡褐色や淡黄色の羽毛で覆われる。尾羽は 12 枚で短く、やや楔形。尾羽の色彩は白い。種小名 *albicilla* は「白い尾の」の意で、和名や英名（white-tailed）と同義。翼の後縁は直線的で飛翔時には長方形に見える。なお同属の方が白い部分が多い。

体長は、タンチョウから比べると小さいですが、はねを広げるとおよそタンチョウとおなじくらいの大さです。観察結果は追ってご報告いたします。

・幹事報告



＊ 「IMのご案内」本年度のテーマは、「第七分区はひとつ！生かそう地域にロータリー」です。吉田ガバナー補佐と実行委員会を中心に進めている。

日時・・・3月10日（土）

12時30分～13時30分 アカデミー研修（入会3年未満対象）、

14時00分～17時00分 IM 本会議・パネルディスカッション

来期は、南 RC の長江ガバナー補佐エレクトが開催しますので、多くの参加を頂きますようお願いいたします

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

森江 洋之会員 結婚祝として

出席委員会

会員 22 名 9 名出席 出席率 41%

・本日のプログラム

「 歴代会長卓話 」

担当 会報委員会

◆北上 俊一会員



私の学校の紹介と、業界の現況を話します。じつは、理美容業界の生徒は、ここ 4～5年の間に減ってきています。北海道の理美容学校も 4 年前には 15 校あったが、生徒の数が減少して、今は 9 校まで減っている。

昨日、湖陵高校の定時制で理容と美容の話をしてきたが、生徒の数が減っているのが驚いた。全国では、7～8年前までは 2 万人位の生徒数がいたが、今は 1 万人位まで減っている。原因として色々あるが、学校に入るにもお金がかかるのが一番ネックになっている。それと業界では、華やかな部分だけ宣伝して、とてもよく見えるが実際にはとてもキツイところがある。大手のスーパーなども私たちの業界に入り込んできて、低料金で営業している所もある。実際には一人、二人でやっているお店が 8 割から 9 割ある。人を入れたくても余裕が無いのが現状。大きな所は単純作業だけ行うので、学校を卒業して入っても仕事が嫌になってしまうので、2～3年で 4 割ぐらいの人が別の仕事に就いているのが現状。学校経営もこの影響で、生徒が半減している。10 年前には通信生徒も併せて、200 人位いたが、今は 70～80 人位になっている。

うちの学校は就職率が 100%で就職には問題ないが、学校経営は生徒の数が集まらないと成り立たない。

生徒が一人でも先生は付けなければならない。収入が減っても経費は変わらない。近郊だけからの生徒を集めるには限界がある。逆に札幌や東京へ行っている人は、うちの学校に来ている生徒以上に行っている。子供にとって親元を離れて自由になりたいという気持ちもある。親に経済力があれば札幌や東京に出せるが、地元に残った人は経済的にもキツイかなと思う。9 割以上はアルバイトをしながら自分の小使いや生活費にしている。

昨年から台湾の学校と姉妹提携をした。3 校ほどオフアアがあったが、2 校から姉妹提携を結びたいと言う事になり、書類上の提携は終わった。実際にどれくらいこちらに来てくれるかまだ数字がつかめていない。細かい事までつめてから契約と思っていたが、まず契約をしようと言うことになった。台湾方式かなと思う。台湾はとても友好的に対応してくれたので、韓国や中国の話もあったがまずは台湾にした。2 ヶ月位釧路にいて、勉強と観光を兼ねたスケジュールを組んでいる。向こうの学校は、2 千～3 千人規模の大きな学校で、理美容だけでなく観光等の他の学科もある。学校経営は余力のあるうちに本業以外のことも考えておかなければならない。学校と言ってもお金が無くなると倒産する。これからは皆様のご協力を頂きながらやって行きたいと思っておりますのでこれからも宜しくお願いします。



・次回のプログラム

2 月 3 日 (金)

「 世界理解月間 」

会場 釧路ロイヤルイン 11F

担当：国際社会奉仕委員会

・点 鐘

長倉会長

今週の会報担当：福井克美会員